



## いじめ防止ラウンドテーブル開催

～いじめ防止に積極的に取り組む中学校が集結！～

福島県教育庁義務教育課では、不登校・いじめ等対策推進事業の一環として、コミュニティ福島において「いじめ防止ラウンドテーブル」を開催しました。この取組は、いじめ防止に積極的に取り組む中学校が推進校となり、各校での取組を発表したり、意見を交流したりする活動を通して、「生徒の目線によるいじめ防止の考えを広めよう」とする取組です。「はま・なか・あいづ」を代表して参加した3つの中学校の活動の様子と、互いに意見を交流し更なるいじめ防止を目指そうとする生徒の様子をお届けします。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 【国見町立東北中学校】の取組発表より ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

学級活動の時間に、年2回、「いじめ熟議」を実施しています。第1回目は全校で統一された課題について、第2回目は各学級の実態を考慮した事例を選択して熟議を実施します。熟議実施後には、生徒会がその成果をもとに、「いじめ0」に向けて「いじめ防止アクションプラン」や生徒会だよりを作成したり、校内放送や全校集会で全校生に呼びかけを行ったりしています。



<熟議の様子>

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 【会津若松市立第一中学校】の取組発表より ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



生徒の善行を学校内に掲示する「感謝の木」を設置し、全校の内容などを葉の形のカードに書いて感謝の木に貼っていき、紹介しています。「感謝の木」を設置することにより、互いに感謝・尊敬・道徳的な気持ちを共有し、ポジティブな学校文化を育むことを目指しています。善行が評価されることで、生徒の自己肯定感を高め、いじめ防止につながっています。

<感謝の木>

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 【いわき市立小名浜第一中学校】の取組発表より ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

学校の住所にちなんで、「やまださく15番地運動」を実施しています。（「や」らない決意「ま」じ許さない目「だ」めと言う勇氣「さ」し伸べる思いやりの心「く」るしかったらSOS「15」歳の春を自分も仲間も笑顔で迎えよう）また、各クラスで話し合って意見を出し合い、スローガンを制作しました。このスローガンをもとに、各学級でポスターを作り、いじめ防止を常に意識して生活しています。



小名浜一中生はみんな「いじめストップアクトサポーター」です。

## いじめ防止を推進する、生徒同士の語り合い ～「いじめをなくすために自分ができることは？」～

いじめ防止ラウンドテーブル、後半は各校3つのグループに分かれ、45分間たっぷり意見交流を行いました。テーマは「いじめをなくすために自分ができることは？」です。はじめはそれぞれの学校の取組をインタビュー。意見交流は、次第に盛り上がり、時には沈黙したりしながらも、互いに本音をつぶやいていました。例え、全員が黙り込む時間があっても、この時間は生徒たちだけの時間。沈黙も、自分と向き合い考えている証拠です。語られる言葉には、いじめを止める力があると信じて。



推進校の皆さんは、互いの考えを聞き、刺激を受けたようでした。いじめ防止ラウンドテーブル後もいじめ防止を推進する取組は、各校それぞれで進めていきました。その後の取組についても、HPにアップしています。ぜひご覧ください。



# いじめ防止ラウンドテーブルに参加した感想



## 国見町立県北中学校

- 学校行事やレクリエーション、委員会活動で一緒に活動し相手をよく知ることが、意図せずにいじめ防止につながっていることが分かりました。
- いじめが起きてからではなく、いじめが起きる前に予防していくことが大切だと思いました。「感謝の木」などで、友達のよいところに目を向けることもいじめ予防につながることが分かりました。
- 自分だけでは思いつかなかった意見が出たり、「いじめ防止のため」として行っていたわけではない活動もいじめ防止につながっているということに気づいたり、たくさんの発見をすることができました。
- 県北中で行っている「いじめ熟議」は、とてもよい取り組みだと改めて知ることができました。「いじめ熟議」を他校に発信しつつ、「感謝の木」や「やまださく15番地運動」、スローガン制作など、各校の取組も取り入れていきたいと思いました。



## 会津若松市立第一中学校

- いじめをなくすための大切な考え方として、「人による感じ方、考え方のちがいを理解すること」「いじめを見過ごさずに『だめ』と言う勇気をもつこと」が重要だと思いました。この「気付き」を全校生に伝えていきたいです。
- 他校の生徒会の方々と交流することで、本校で行っている取組やいじめに対する考えや視点を変えることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。
- 「感謝の木」の活動について、県北中と小名浜第一中から、たくさん質問されました。「感謝の木」の取組がいじめ防止に役立っていることを再確認できました。
- 「『感謝の木』で集まった言葉を放送で紹介してはどうか」という意見をもらいました。とてもよい提案だなと思ったので、ぜひ実行したいと思いました。



## いわき市立小名浜第一中学校

- 本校で取り組んでいる「やまださく15番地運動」よりインパクトがあるよい取組はないと思っていましたが、他の2校の発表を聞いて、工夫した取組をしていて刺激を受けました。
- 身近なところでいじめが起きていたら、「だめ」と言う勇気を持ち、悲しい人が一人でもいなくなるように努力したいと思いました。
- いじめが発生した後にはどう防ぐだけでなく、いじめが起こる前にどう防ぐについても話し合うことができ、より前向きな話し合いができました。
- 「SOS」を出しやすい環境をつくっていくのが大切だと学びました。「SOS」を言える場所づくり、学校全体の雰囲気をよくする行事を行って、生徒全員が「学校に来たい!」と思える学校づくりを目指していきたいです。



推進校の皆さんの意見や感想から、いじめをなくそうという強い思いを感じます。

ラウンドテーブルでの交流を生かし、各校や地域に、皆さんの思いを発信し続けてください。